

同じように赤い実をつけるもので縁起良く語呂合わせしているものには、次のものがあります。

<p>万両</p>	<p><b>マンリョウ ヤブコウジ科</b> 山野の林中に生えている常緑小低木ですが、庭などに普通に植えられています。実の白いものをシロミノマンリョウ、黄色のをキミノマンリョウと呼びます。</p>	
<p>千両</p>	<p><b>センリョウ センリョウ科</b> 暖地の山地、林中にはえますが、鑑賞用としてよく植栽されています。葉が柔らかいので、強い日差しや風には要注意。実の黄色いものはキミノセンリョウと呼びます。</p>	
<p>百両</p>	<p><b>カラタチバナ ヤブコウジ科</b> 暖地の山地、林中に生えますが、鑑賞用としてよく植栽されています。中国渡来のように“カラ”とついていますが、日本の在来種です。タチバナは古名で柑橘類を指すので、区別する為に“カラ”をつけたと思われる。</p>	
<p>十両</p>	<p><b>ヤブコウジ ヤブコジ科</b> 山地の木蔭に群生して生える常緑小低木で、よく鑑賞用に栽培されています。近縁種には地下茎で繁殖するツルクウジが有ります。こちらは葉が丸みを帯びていることと毛が有ることで区別出来ます。</p>	
<p>一両</p>	<p><b>アリドオシ アカネ科</b> 山地の乾き気味の樹林に生える常緑小低木です。刺が細く鋭いので、蟻をも刺し通すからか、蟻なら通れるからということが名前のゆらいです。</p>	